

# Koriyama West Weekly Report



第29回例会  
No. 2802

会長/鈴木 茂幹 事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文  
会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理  
事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847  
例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

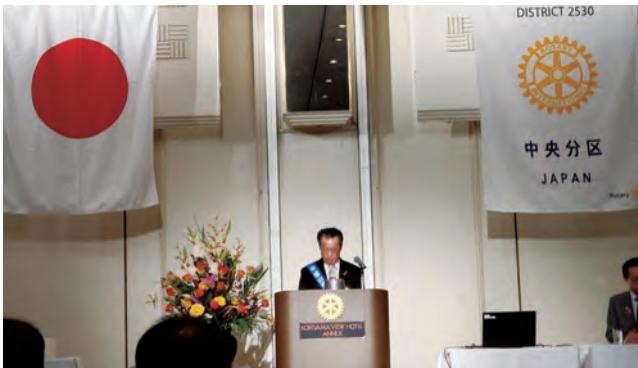
## 中央分区 IM (インターナシティ・ミーティング)

ビューホテルアネックス  
※2月19日(水)からの例会変更

### 中央分区新会員セミナー

11:30AM ~ 登録 12:30PM 閉会

出席 阿部治江会員 関根英樹会員 星 千春会員



### 中央分区 IM

1:30 PM ~ 登録

2:00 PM ~ 開会式

開会宣言 塩田義智ホストクラブ郡山東RC会長  
開会点鐘 早川敬介ガバナー  
国歌斉唱 加藤正幸ソングリーダー<sup>1</sup>  
ロータリーソング「奉仕の理想」  
ガバナー挨拶 早川敬介ガバナー



ガバナー補佐挨拶 佐藤雄三ガバナー補佐



歓迎の言葉 高田藤太郎 IM実行委員長

2:30 PM ~ フォーラム

テーマ 我がクラブの特徴ある奉仕活動  
コーディネーター 高田藤太郎 IM実行委員長  
パネリスト 郡山RC  
郡山西RC 高橋金一会員



我がクラブの特徴ある奉仕活動は、2012年から2023年にかけて行われた「復興の折り鶴」プロジェクトである。

これは、震災当初から被災地に対し医療支援活動を行っていた米国日本人医師会(以下「JMSA」)の橋渡しで、同時多発テロから災害精神医学の先端を走っていたマンハッタンのマウントサイナイ医科大学(以下「MS医大」)と福島県立医科大学との交流ができ、MS医大の同時多発テロの心のケアとつながりを持つ9/11家族会が加わり、当時の県立医大教授丹羽真一先生が始めた浜通りにメンタルケアの拠点を作るという事業への協力から始まった。

JMSAの当時副会長の柳沢・ロバート・貴裕医師の妻育代氏がR I 第7490地区のイングルウッドRC会員であることから、ロータリーを起点とした被災地支援ができるかということになり、育代氏のお父様と長年に亘り親交のある、当クラブの名誉会員である佐藤栄佐久氏からの声

がけで、我がクラブがこの心のケアプロジェクトに参加するようになった。そこから、被災地の仙台RC、石巻の4RCが趣旨に賛同し、支援の輪が拡大していった。

これらの一連の事業の財源は、9/11家族会及びJMSAに対しては、アメリカン航空、米日財団、ジャパンソサイアティによる支援、現地における事業に対しては、R I、そして、現地クラブの寄付、それらが所属する地区ロータリーの地区補助金、グローバルグランツによって賄われた。

まず、メンタルケア拠点への支援として、福島県沿岸部の相馬市の心のケアセンター「なごみ」への備品寄贈が2012年10月に行われたことを皮切りに、9/11家族会寄贈のグランドゼロから回収した鉄骨で作った「復興の折り鶴」が本事業の象徴的モニュメントとして開成山公園に設置され、避難者への寄り添い活動としての仮設住宅訪問、放射線被害を受けている小学校、特別支援学校、高等学校への訪問と交流会、福島第一原子力発電所、富岡町の視察、おだがいさまセンター訪問、原発被災地から未来へ向かう第一歩を踏み出したふたば未来学園訪問など、様々なプログラムが行われてきた。その中でも、県立医大的学生とマウントサイナイ医大的学生との短期交換留学は、双方の学生が災害精神医学の研究を深める格好の事業となり、その成果は学会等で報告がなされている。これをきっかけとして、我がクラブは、イングルウッドRC及び9/11家族会との交流が生まれ、米国側からは2012年から年から2019年まで毎年来日し、前記のようなプログラムを共同で行い、我がクラブの50周年の折には、NY訪問が実現し、在NY総領事大使公邸における9/11家族会に対する感謝状贈呈の際に、来賓として、当クラブが大使公邸に招待され、当時の宮本会長が祝辞を述べるなどの栄誉を受けることができた。

残念ながら、コロナ禍のために、2019年を最後に交流が途絶えているが、心のケアプロジェクトの集大成として、2023年5月に、それまでの活動から知遇を得た、花の写



## 開成山大神宮

宮司 宮本 孝

〒963-8851 郡山市開成3-1-38  
TEL 932-1521 FAX 939-4410

真家野口勝宏氏の花の写真パネルを、ふくしま心のケアセンター5拠点に寄贈する事業をもって、一応の区切りとすることができた。また、この活動を通して、ロータリーの活動に共鳴した丹羽先生が2018年に福島RCに入会されたことは、RCの奉仕活動の広がりを感じさせる特筆すべきことだと思っている。

皆さん、是非、開成山公園で、「復興の折り鶴」モニュメントをご覧下さい。

郡山東RC
郡山南RC
郡山北RC
郡山西北RC
郡山安積RC 加藤英夫会員
郡山アーバンコスモスRC
福島グローバルRC
3:30 PM~ 総括講評 石黒秀司パストガバナー
4:10 PM~ ウクライナ伝統楽器バンドウーラがつむぐ祖国への思い バンドウーラ奏者・歌手 カテリーナさん
4:50 PM~ 次期IMホストクラブ会長挨拶 町田 晃郡山南RC会長
閉会宣言 相山 進IM実行委員長
4:50 PM~ 閉会点鐘 早川敬介ガバナー
5:30 PM~ 懇親会 乾杯 アトラクション KC CHEERS 郡山商業チアリーディング部 ロータリーソング「手に手つないで」
7:30 PM~ 閉会の挨拶 上田 真ホストクラブ会長エレクト

### 出席報告

会員数 39名 出席数 39名 欠席者 0名 出席率 100.00%  
前回出席率 56.41%



## ゼノアックホールディングス(株)

取締役 森 尾 和 衛

〒963-0102 郡山市安積町笛川字平ノ上1-1  
TEL 945-2300 FAX 945-2394